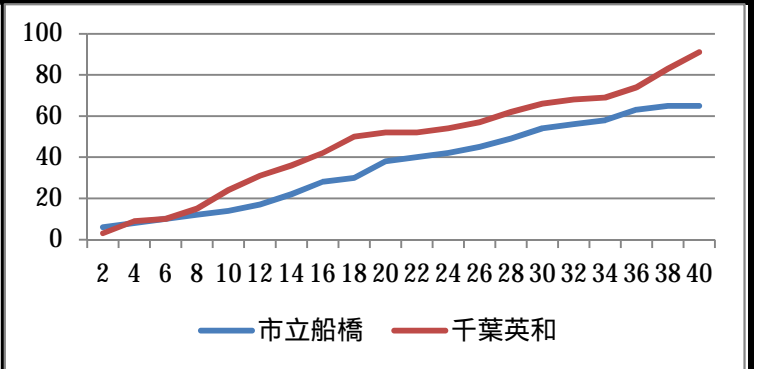
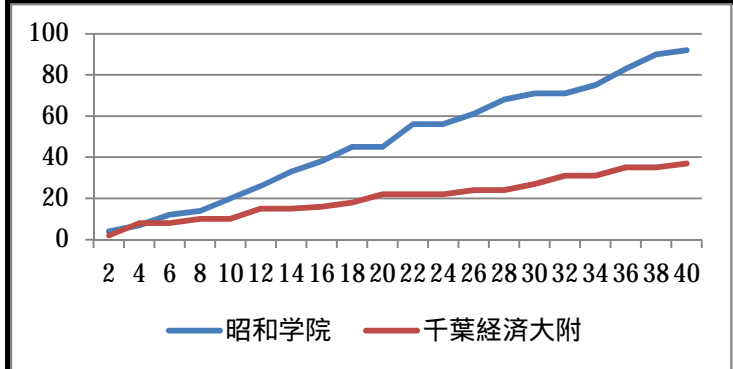


平成23年度千葉県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 ゲームレポート

Game	Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A5	昭和学院	20	25	26	21		92
	千葉経済大附	10	12	5	10		37

Game	Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
B5	市立船橋	14	24	16	11		65
	千葉英和	24	26	16	25		91

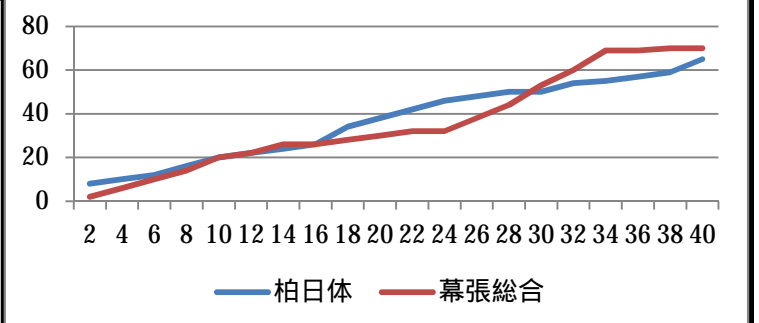
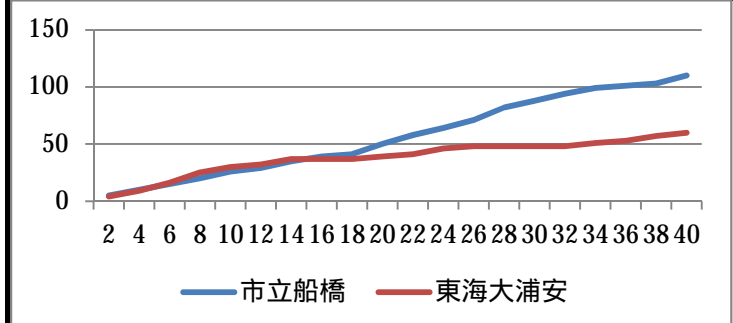


先制点は昭和学院#8内田のシュートでスタート。互いにハーフマンツーマン。千葉経済は#4斎藤を中心にドリブルで切り込む。対する昭和はゴール下での手堅いディフェンスをし、また、冷静に中を攻めて確実に点を重ねていく。2Q開始、昭和の勢いは衰えず#7村山の中のシュートを始め、高さを生かしたプレーが続く。千葉経済も積極的な1対1でディフェンスを崩そうとするが、思うように攻めきれないまま前半を45 - 22で昭和リードで終える。後半は昭和はメンバーを代えるがそれでもスピードは衰えず点差を広げていく。経済はなかなか得点につながらない。最後まで落ち着いたプレーでリードを保った昭和学院が92 - 37と大差で勝利した。

英和はオールコートマンツーマン、市船はハーフコートマンツーマンでスタート。序盤から両チームともハイスピードなバスケットを繰り返す。英和は#4藤岡を中心に得点を重ねていく。それに対し市船は途中からゾーンプレスに変えるが、英和のシュートが落ちない。#6堀田、#8江連の3Pによって追い上げを図り市船が流れを掴んだかと思われたが、対する英和も#4藤岡、#14寺田の3Pでリードを許さない。52 - 38英和リードで迎えた後半。やはり両者一歩も譲らず3Pの勝負となる。英和はリバウンドの強さ、冷静さを失わない落ち着いたプレーで市船に勝っていたことが勝利へとつながったのではないかと。スピードとスピードがぶつかり合う、見ごたえのある試合であった。

Game	Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A6	市立船橋	26	24	38	22		110
	東海大浦安	30	9	9	12		60

Game	Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
B6	柏日体	20	18	12	15		65
	幕張総合	20	10	23	17		70



共にハーフコートマンツーマンからスタート。1Qは市船が速攻や合わせの攻め、東海大は3Pで両チーム点を重ね、点の取り合いとなった。2Qは1Q同様、点の取り合いかと思われたが、東海大は小さなミスが重なり、点に繋がらなくなる。市船は変わらず、粘り強いDFと#4西鶴を中心とした切り替えの早い速攻など落ち着いたプレーを見せる。最終的に50対39まで開き、2Q終了。3Qに入り市船が前半は#4西鶴を中心とした速い攻めかつ、3Pで点を重ねる。東海大はゴール下シュートやイージーシュートを外し、点が決まらないまま3Q終了。4Q、市船は交代した#13内山を中心に速攻を決める。メンバーは変わったが、相変わらず速い攻めと、しつこいDFで東海大の加点を止めた。市船がファールをし、東海大に2ショットのチャンスが5回あったが、チャンスを生かすことができなかった。流れが変わらず、自分たちのスタイルを貫き通した市立船橋が110対60で勝利をおさめた。

試合開始直後日体#10王のシュートがたて続けに入り、流れを掴もうとするが幕総も3Pなどで点を重ね、1Qは20対20の同点で終わった。2Qも変わらず日体は高さを生かしたプレー、幕総は合わせや外からのシュートで両者一歩も引かない前半戦となった。後半戦は幕総が怒涛の追い上げをみせた。#5宍倉のシュートをきっかけに徐々にペースを取り戻し、オールコートマンツーマンのDFに切り替え日体にゴールを決めさせない。その後も#13中村の得点などで幕総の勢いは衰えず、スチールからの速攻やフリースローで確実に点を取っていった。結果70対75後半での粘り強さとボールへの執着心に勝っていた幕張総合が勝利した。両者ともチームのスタイルを存分に発揮し、おおいに盛り上がる試合をみせてくれた。